

「いのち彩る里 飯南町」

いーなん



飯南町広報 平成24年10月19日 No.94

『農業の担い手を確保するために』

**新規就農を
応援して
います**



わっしょいわっしょい!
(三日市えびす祭)

10月
飯南町広報
Inan public relations magazine

新規就農を応援しています

新規就農を
応援しています



宮本 智泰さん

私達夫婦の夢は同じ目標に向かって、日々共に作業をして、笑顔の絶えない家庭を築く事です。【夢の卵】【心にかける時間】【欲の向上】が必要だと私は思っています。これは家庭、教育、企業にも必要な要素だと思います。近い将来、町の皆さんに「あの人達が飯南町に来てくれて良かった」と言って頂ける日を夢見て頑張ります。宜しくお願い致します。



中野 良介さん

今年の4月に神戸から家族4人で引っ越してまいりました。田舎で農業をしながらスローライフをと思いやってきました。とは言え、都すが、なかなか忙しい毎日を過ごしております。

会には無い大自然を子どもたちと共に満喫しております。飯南町に来てまず感じたのが、周りの方々の温かさ。来たばかりの私達にもすごく親切に接していただき、そのおかげで何とか今までやって来られました。田舎での暮らしというものは地域の方とのコミュニケーション無しでは成り立たない事を切に思いました。

これからは一人前の農家になって地域の発展の一助になれるかなと思います。



和泉元 亨さん

広島からIターンで飯南町にやってきて2年が経ちました。吉川農園での研修も一段落し、現在は研修用のほ場でヤマトイモの試作などを行っています。今年は一時期除草が追い付かず、ほ場を草だらけにしてしまうということがあり、その他にも多くの反省点があったように感じています。来年度からの就農に向け、吉川農園での研修や今年の試作での反省を糧になんとか自立していくよう、しっかりと準備を進めています。

廣川 恭子さん

今年の2月に大阪市から飯南町に来ました。週3日は飯南病院に勤務し、残りの4日はヤマトイモ生産組合の藤川さんに農業を教えていただいている。現在ヤマトイモを栽培していて、収穫が11月なので今からドキドキしています。病院の帰り道にもつい畑に寄ってしまう毎日です。「冬をどう快適に過ごすか」に悩んでいる今日この頃です。



新規就農支援に関するお問い合わせ
産業振興課商工定住交流担当
(定住支援センター)
電話 76-2214



中野さんの歓迎会が瀬戸1自治会で開催され、暖かく地域に迎えられました。

農林業定住研修
農林業定住研修は、自営による新規就農をこれから行おうとするU・Iターン者を対象に、農林業研修を実施しています。1年目は基礎講座と基礎実習からなる研修を行い、その期間中に就農するための計画(就農計画)を作成します。就農計画が県で認定されると、2年目はその計画に基づいた実務研修を行い、就農のための準備も並行して行います。2年間の研修を行った後、3年目に就農します。これまで3名の研修生が研修を行い、現在2名が実務研修、1名が基礎研修を行っています。これから25年度4月を開始の研修生を募集する予定にしています。

- ①農地情報の収集
 - ②空き家のあつせん
 - ③就農相談会への参加
 - ④農業体験
- ①農地情報の収集 研修を終えた研修生がスマートに就農できるよう、利用可能な農地の情報を収集し、就農希望者に情報提供します。
- ②空き家のあつせん 農地が隣接している空き家を町が借り上げて改修を行い、就農希望者にあります。
- ③就農相談会への参加 都市部で開催される就農相談会に参加し、直接就農希望者に情報提供を行います。
- ④農業体験 農業を経験していない就農希望者を対象とした農業体験プログラムを実施しています。

『農業の担い手を確保するために』

農業は飯南町の主要産業の一つですが、近年担い手の高齢化が進んでいます。農業を主な仕事として携わっている農業者の平均年齢は70.6歳(平成22年度調べ)となっており、このまま担い手が増えなければ5年後、10年後に飯南町の農業を維持するのは難しくなるかもしれません。町では、定住対策の一環として農業の担い手確保のための新規就農支援に取り組んでいます。

今回はその取り組みと現在研修を行っている皆さんをご紹介します。

農業の高齢化が進むと…

現在、地域の農業は、集落営農組織や認定農業者、または個人の農業者の皆さんで維持しています。今70歳で農業に携わっている人が、10年後にはどのようになっているか想像してみてください。80歳になつて大半の農業者は、農業ができなくなっていることが容易に想できます。

若い担い手がいる集落営農組織であれば安心はできません。若い担い手は別の仕事に携わっていることが多い、週末は若い担い手の協力が見込めます。が、平日の管理は高齢の担い手が行つている状況です。

そこで飯南町では、担い手を確保するため様々な取り組みを行っています。

半農半X事業

飯南町において、農業以外の仕事をと同時に、これから行おうとする就農を同時に、これから行おうとするために、U・Iターン者をサポートしています。

1年目は仕事の合間に就農に向けた研修を行うための助成金を交付します。2年目は就農初期における農業収入の少ない時期を経済的にサポートするための助成金を交付します。

現在、1名が飯南病院で勤務しながら就農に向けた研修を行っています。2年目は就農初期の経済的サポートするための助成金を交付します。

今後は仕事と農業形態をバッケージ化したモデルを作成し、希望者に提案していくことを考えています。

その他の取り組み

- ①農地情報の収集
- ②空き家のあつせん
- ③就農相談会への参加
- ④農業体験

①農地情報の収集 研修を終えた研修生がスマートに就農できるよう、利用可能な農地の情報を収集し、就農希望者にあります。

②空き家のあつせん 農地が隣接している空き家を町が借り上げて改修を行い、就農希望者にあります。

③就農相談会への参加 都市部で開催される就農相談会に参加し、直接就農希望者に情報提供を行います。

④農業体験 農業を経験していない就農希望者を対象とした農業体験プログラムを実施しています。

これからもお元気で 敬老会を開催しました

長寿・白寿・米寿・喜寿・金婚を迎える方と75歳以上の方をお祝いする敬老会を、9月17日に赤名農村環境改善センターで開催しました。

式典では白寿代表の坂井實さん(畠田)をはじめ、各節目の代表者の方に記念品を贈呈しました。また、式典後には保育所児童によるステージや神楽が上演され、参加者の皆さんも大いに楽しんでおられました。



白寿代表の坂井實さん

9/17 祝

9月27日には今年100歳を迎える方の代表として、木村サツさんは畠田宅に町長が訪問し、内閣総理大臣からの祝状と銀杯を届けました。

木村さんは畠仕事に精を出すなど、まだまだ現役で活躍しておられるということで、大変お元気そな様子でした。



祝状を受け取る木村サツさん

交通安全を願つて 秋の全国交通安全運動

9/21 金
9/30 日

マナーアップル作戦

秋の全国交通安全運動が9月21日から30日にかけて行われ、これにあわせて町内でも様々な交通安全啓発活動が行われました。毎年恒例となっているスポーツ少年団による交通安全啓発活動「マナーアップル作戦」も、9月22日に赤来地域、29日に頓原地域で行われ、国道54号を通行する車に飯南町特産のりんごを配りながら、元気に交通安全を呼び掛けていました。



加藤登紀子さんと飯南高校生の共演

様々な癒しを体験 飯南町セラピーフェスタ

9/15 土
9/23 日

一緒にセラビティ体験も行いました

様々なセラピーを一度に体験できるイベント「飯南町セラピーフェスタ」が、森のホテル「もりのす」や町内各施設を会場に開催されました。9月15日には、歌手の加藤登紀子さんと娘のyaeさんをお迎えして、ラジオ番組の公開収録が行われました。番組内では加藤さんと飯南高校吹奏楽部とのセッションが行われるなど、観客も巻き込んだ楽しい収録となりました。



豆腐1丁を食べ尽くす「志々地区グルメ旅行」

地域ぐるみの大運動会 志々地区 合同体育大会

9/30 日

志々地区ではさつき保育所・志々小学校・地区住民が地域ぐるみで体育大会を開催しています。今年はあいにくの悪天候により屋内での開催となりましたが、子どもから大人まで多くの地区住民が参加し交流を深めました。「志々地区グルメ旅行」など志々地区ならではの楽しい競技の数々に、選手と応援席が一体となつて盛り上がりをみせていました。



創作神楽「琴引の山」

戦国の舞台を訪ねる 銀山街道ウォーク in 飯南

10/7 日

飯南町の銀山街道を訪ねるウォーキング大会が今年も開催され、町内外から100名が参加しました。

今回は戦国時代の激戦の舞台を訪ねるということで、赤六氏・尼子氏が守る瀬戸山城、そして攻める毛利氏が陣を敷いた武名ヶ平城の跡地を訪れました。参加者は遙かなる歴史に思いを馳せながら、ウォーキングを楽しんでいました。



城への山道を登る参加者

琴が奏でる御縁 琴引山まつり「琴の縁」

9/22 土
9/23 日

神話の山 琴引山を舞台に、琴引山まつり「琴の縁」が開催されました。琴引ビレッジキャンプ場の特設ステージでは、前夜祭として大国主命が琴を奏でたことに由来した音楽イベントや、翌日には創作神楽「琴引の山」が披露された神楽大会など、琴引山にちなんだ催しが行われました。

この他、琴弾山神社例祭にあわせた登山イベントなども行われ、琴引山周辺は賑やかな2日間となりました。



白寿代表の坂井實さん

飯

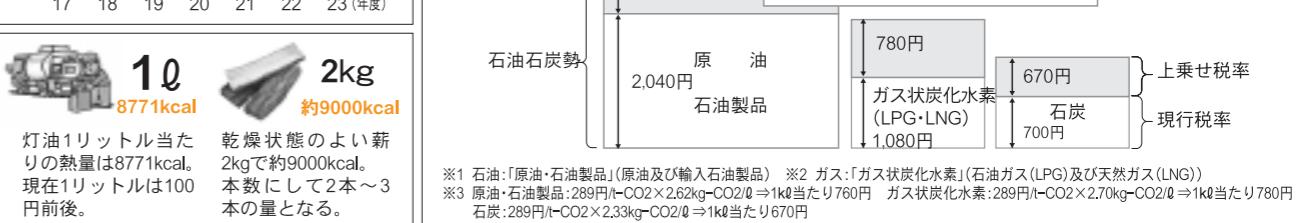
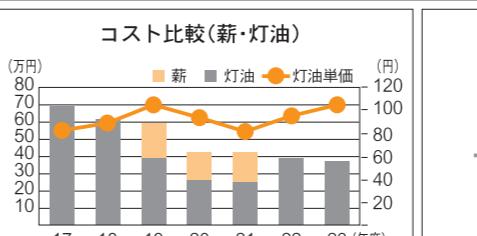
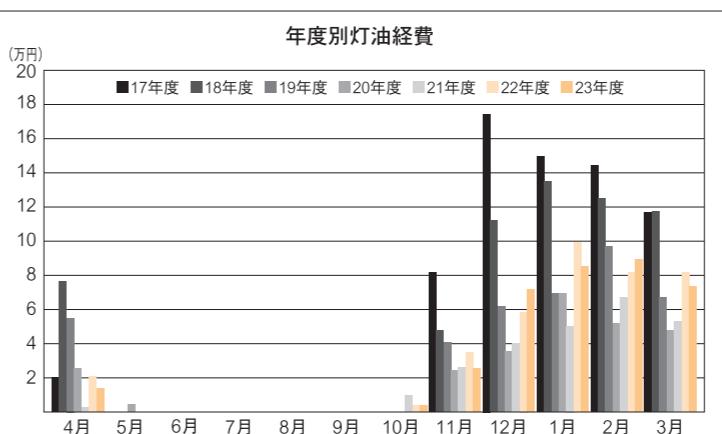
南町は薪の活用を図ります

薪と灯油の工事比較

飯南町は、低炭素黒字化計画のもと、木質バイオマスの活用を図るとともに薪の活用を進めています。薪は、ペレットやチップと比べ加工の必要がなく、伐採後に小割

3分の1削減が行えた結果となりましたが、ボイラーカラ送風機までの配管距離(20m)を改善すればこれ以上の効果は期待できるところです。

とで、経済的な負担を減らしつつCO₂を削減することが可能です。また、この収税を活用して、省エネエネルギー対策、再生可能エネルギー普及、化石燃料のクリーン化・効率化



平成24年4月～平成24年9月	
収集できない理由	件 数
①ごみの出し方の間違い	55件
②氏名の記載なし	33件
③袋のまちがい	10件
④その他	4件
合 計	102件

【お問い合わせ】
いいしクリーンセンター
電話72・9217
住民課 電話76・2213

全国的に障がい者の暮らしを支援する意識が高まっている中、障がい者に対する虐待事例の報告が後を絶ちません。その多くは、他人の目に触れにくい家庭や施設の内部で起こるため、認知や発見がされにくいのが現状です。

● 虐待が発覚しにくい理由

【虐待する人】

- ・しつけや教育の一環と思っている
- ・行動障害を抑制するために「やむなく」してしまう
- ・支援疲れやストレスに端を発して、いて自覚がない

- ・性的暴力、性行為の強要
- ・ボルノ雑誌等を無理やり見せる
- ③心理的虐待
- ・侮辱する言葉を浴びせる
- ・怒鳴る、ののしる
- ・差別的な扱いをする

飯南町障がい者虐待防止センター
(飯南町保健福祉センター内)
電話 72・1773
夜間 休日
役場赤名庁舎 電話 76・2211
役場頓原庁舎 電話 72・0311

ご みの出し方の お願 い

障害者虐待防止法が施行されました

収集できなかつた理由として最も多かつたのは、「ごみの出し方の間違い」でした。これは、「資源物専用」の袋にカン・ビン以外のものが入つてゐることなどがあげられます。次に多いのが「氏名の記載なし」でした。

ごみの出し方については、再度「家庭ごみの分け方・出し方」をご確認ください。皆様のご協力をお願いします。

(飯南町のホームページからダウンロードができます。)(ご利用ください)

障がいのある人への虐待は法律で禁止されています

「障害者虐待防止法」が平成24年10月から施行されました。これにより、障がい者への虐待に対しても法的な措置が取れるようになります。

- 障がい者に対して虐待をしてはいけません
- 虐待を発見した人には、通報をする義務があります
- 学校や病院には、虐待防止の義務があります

【被害者】

- ・苦しみや辛さを自分で訴えられない
- ・虐待されているという自覚や認識がない
- ・恐怖心から抵抗できない

【第三者】

- ・家庭や施設等の閉ざされた空間で起こるため気付かない
- ・支援に携わるような人が虐待などするわけがないと思い込んでいる
- ・「おかしい」と感じながらも、それが分からず見て見ぬふりをして

④養育放棄(ネグレクト)

- ・食事を与えない
- ・必要な治療や衛生管理を怠る
- ・学校へ行かせない

⑤経済的虐待

- ・給料を支払わない
- ・障害年金を渡さない
- ・預貯金を本人の意思に反して使用する

「もしかして?」と思ったら
通報をお願いします

障がい者虐待は発見されにくい

畠に飯畠隣がない者届け隣止ヤ、
ターを設置しました。

①資源ごみは、食べ物・飲み物が入っていた容器(ビン・カン)をきれいに洗つて出しましよう。

※入浴剤容器は資源ごみではありません

暴力だけが虐待ではありません
障がい者に対する虐待は、次の
5種類に分類されます。

早期発見には、「もしかして？」
という、いわゆる「グレーゾーン」
の状況での通報が大切です。通報
者の秘密は守られています。虐待

【お問い合わせ】

【お囃子「ゆわせ」】

生きがい村

保健 医療 介護 福祉

推進センター

●飯南病院 電話72・0221 ●来島診療所 電話76・2309 ●保健福祉センター 電話72・1770

今年もインフルエンザの季節がやつてきました。10月1日からは予防接種の受付を飯南病院でも開始しています。インフルエンザを予防する基本は流行前に予防接種を受けることです。完全に予防できないこともあります。インフルエンザにかかる場合の重症化防止として有効です。飯南病院のインフルエンザ予防接種は完全予約制で午後からのみの接種となります。お間違えないようご注意ください。

インフルエンザは38度以上の発熱

頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症

状が強いのが特徴です。腹痛、嘔吐、下痢といった胃腸症状を伴うこと

もあります。さらに肺炎や小児では中耳炎、熱性けいれんを併発するこ

とがあります。高齢者や呼吸器や心

臓に慢性の疾患を持つ人では重症

化したり、小児で発症する脳炎は致

した冬の空気は粘膜も乾燥させ、の

どの粘膜の抵抗力を低下させます

から、マスクをしたり、加湿器を使つ

たり、湿度を保つことも有効です。

帰宅時の手洗い、うがいを習慣付け

ましょう。また歯磨きや口腔内ケア

をすることが予防に有効であるこ

とも報告されています。

インフルエンザにかかるてしまつ

た場合、無理をせず、安静にし、しつ

かり栄養と睡眠を取ることが基本

です。食欲がない場合が多いですが、

インフルエンザにかかることが多い

のですが、その場合は眠れるよう

な場合、無理をせず、安静にし、しつ

かり栄養と睡眠を取ることが基本

です。食欲がない場合が多いですが、

インフルエンザにかかるが多い

のですが、その場合は眠れるよう

な場合、無理をせず、安静にし、しつ

かり栄養と睡眠を取ることが基本

です。

陸上自衛隊高等工科 学校生徒を募集します

【陸上自衛隊高等工科学校生徒とは】

将来陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信を持つて対応できる自衛官となる者を養成するため、中学校卒業者等を対象に採用する制度です。

【受付期間】

一般試験

平成24年11月1日(木)から

平成25年1月7日(月)まで

推薦試験

平成24年11月1日(木)から

平成24年12月7日(金)まで

※締切日必着

応募資格

一般試験

平成25年4月1日現在、15歳以上

17歳未満の男子で、中学校卒業者

又は中等教育学校の前期課程修了者(平成25年3月に卒業、前期課程修了見込みの者を含む)

推薦試験

一般試験の資格に該当する者の内、入校を熱望する強い意志を持ち、中学校長又は中等教育学校長が高等学校生徒としてふさわしい

放送大学では平成25年度第1学期(4月入学)の学生を募集中です。放送大学はテレビ放送などをを利用して授業を行う通信制の大学です。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。出願期間は平成25年2月28日必着です。資料を無料で差し上げています。

放送大学4月生を募集しています

♪現在、BSデジタル放送中♪

放送大学では平成25年度第1学期(4月入学)の学生を募集中です。放送大学はテレビ放送などをを利用して授業を行う通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。出願期間は平成25年2月28日必着です。資料を無料で差し上げています。

【大学説明会】(出雲会場)

日時／12月2日(日)10時から11時30分

会場／出雲中央図書館2階会議室

■お問い合わせ／島根学習センター

電話0852・28・5500

「もうかります」詐欺にご用心！

手口としては、未公開株等の封書を送りつけ、別の業者が「高値で買い取る」と言って電話をかけてくるなど、複数の業者が登場します。雲南署管内でも高額の被害が発生しています。不審な郵便物・電話があれば、最寄りの駐在所にご連絡ください。

■お問い合わせ／赤名駐在所

電話76・20001

と認め、責任を持つて推薦でき
る者

【試験日及び試験場所】

一般試験

第一次試験

第二次試験

日時／平成25年1月19日(土)

会場／松江地方合同庁舎及び出雲・浜田の各地域所在の県合同庁舎

日時／11月17日(土)

会場／飯南町森林セラピー基地も

りのす

申し込み締め切り／11月11日(日)

日時／平成25年2月2日(土)

会場／陸上自衛隊出雲駐屯地

推薦試験

日時／平成25年1月12日(土)から同

年1月14日(月)までの間の指

定する1日

会場／陸上自衛隊高等工科学校

採用時期

平成25年4月上旬

会場／自衛隊島根地方協力本部出雲地域事務所

電話0853・21・0831

■自衛隊島根地方協力本部 <http://www.mod.go.jp/pco/shimane>

糖尿病教室を開催します

飯南町は山陰地方で初めて「森林セラピー基地」に認定されました。

森林セラピーを取り入れた糖尿病運動療法を行い、心と体ともにリラックスさせましょう。

飯南町は山陰地方で初めて「森林セラピー基地」に認定されました。森林セラピーを取り入れた糖尿病運動療法を行い、心と体ともにリラックスさせましょう。

飯南町は山陰地方で初めて「森林セラピー基地」に認定されました。

森林セラピーを取り入れた糖尿病運動療法を行い、心と体ともにリラックスさせましょう。

平成25年度コミニティ助成事業を募集します

財団法人自治総合センターでは、宝くじの受託事業収入を財源として、住民の行うコミニティ活動を推進し、その健全な発展を図ること

もに宝くじの社会貢献広報に資するため、助成事業を実施しています。

現在、平成25年度助成事業の申請をするコミニティセンターは役場企画課(企画担当)までご相談ください。

財政課(企画担当)までご相談ください。

■事業名

一般コミニティ助成事業
(上限250万円)

■募集締切

お問い合わせ／企画財政課

電話76・2864

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2821

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2831

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2812

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2813

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2814

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2815

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2816

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2817

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2818

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2819

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2820

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2821

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2822

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2823

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2824

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2825

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2826

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2827

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2828

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2829

■お問い合わせ／企画財政課

電話76・2830

今月の表紙



まちのスケジュール

2012年 平成24年 11月分
■教育 +■健康・保健 ★文化・体育 ◆その他



日

月

火

水

木

金

10/28

10/29

10/30

10/31

1

2

4

5

6

7

8

9

10

- ◆ 中山間フェア inい～なん
(中山間地域研究センター)

- ◆ 「カタリCafé」
(来島基幹集落センター)

- ◆ 子育て支援センター「ほっと。Café」
(来島保健センター)
◆ 「カタリCafé」
(赤名農村環境改善センター)

- ◆ 行政相談
(保健福祉センター)
■ 中学校出雲地区卓球大会
(出雲市)

- ★ 飯南町文化祭
(赤名農村環境改善センター)
◆ 森のヨーガ教室
(もりのす)

11

12

13

14

15

16

17

- ◆ 赤名小学校発表会
★ 家庭の味まつり
(志公・さつき会館)

- ◆ 育児サークルスマイルりんご
(来島基幹集落センター)
◆ 「カタリCafé」
(さつき会館)

- ◆ 「カタリCafé」
(みせん)
■ 地域開放日
(全保育所)

- ◆ 諸原小学校発表会
◆ 飯南町エコロジー米生産者大会
(中山間地域研究センター)
◆ 糖尿病教室 (もりのす)
◆ 志々小まつり

18

19

20

21

22

勤労感謝の日
23

24

- ★ 町スポレク祭・親子元気アップ教室
(諸原小)
■ 頂原中授業公開日・PTA研修会

- ◆ あかちゃんまつり
～ロケットくれよん公演～
(社会福祉協議会)

- ◆ 子育てサロン
こがもちゃん
(谷笑楽校)

25

26

27

28

29

30

12/1

- ★ お菓子づくり教室
(赤公・農産物加工場)

- ◆ 育児サークルスマイルりんご
(来島基幹集落センター)

し尿取り日

頓原地域 電話72-1401
赤来地域 電話76-2441

汲取り地区	汲取り日
頓 原	7日(水)9日(金)
赤 名	2日(金) 5日(月) 20日(火)22日(木)
来 島	12日(月)14日(水)

資源物

収集地域	収集日
頓 原	21日(水)
赤 来	28日(水)

金属類・粗大物

収集地区	収集日
頓原・連担地	26日(月)
八神・連担地	28日(水)
頓原・八神連担地以外	27日(火)
赤名・連担地	19日(月)
来島・連担地	21日(水)
赤名・来島連担地以外	20日(火)

ガラス類

収集日
12日(月)
14日(水)
13日(火)
5日(月)
7日(水)
6日(火)

※決められた日時をお守りください。いいしクリーンセンター TEL72-9217

●町の人口5,528人（前月比+2人） ●男性2,591人 ●女性2,937人 ●世帯数2,167戸 H24.10.1 現在

広報 いーなん 10月号

まち
小さな田舎からの「生命地域」宣言
いのち彩る里 飯南町